

第2回水稲病害虫発生予察結果(伊豆市内)



■ 4月下旬～5月上旬植えの早生品種(コシヒカリ等)

【生育状況及び病害虫発生状況】

現在は中干しの適期となっており、ほとんどの田んぼで中干しをしています。

1株の分茎数が18本以上となっている場合、中干しを開始してください。

写真のように地面に軽くヒビが入る程度に土を乾かしてください。



(中干し終了時期の目安)

《中干しの注意事項》

長期間の中干しはヒビが入りすぎ根を切らしてしまうため、天候を考慮して中干し期間を調整してください。

晴天が続く場合 ⇒ 中干し期間 1週間程度

雨天が多い場合 ⇒ 中干し期間 2週間程度

病害虫の発生は確認されませんでした。

カメムシ等の繁殖を抑えるため、田んぼ周辺や畦畔の除草をおこなってください。

【雑草の発生状況】

田んぼにより雑草が発生しています。

今の時期の除草剤は『バサグラン粒剤』の散布をおすすめします。

バサグラン粒剤を使用する際は、下記の「使用上の注意」をご確認のうえ使用してください。

バサグラン粒剤 3kg

適用雑草	使用量	使用時期	本剤使用回数
一年生雑草(イネ科を除く) ウリカワ、オモダカ、クログワイ、ホタルイ等	3～4kg/10a	移植後 15～55日 (但し、収穫 60日前まで)	1回

【バサグラン粒剤使用上の注意】

- 落水状態(足跡に水が残る状態)にして水の出入りを止める。
- 散布後3日間はそのままの状態を保つ。
- 散布後2日以内に降雨があると効果不十分となるので、晴天の続く時に使用する。
- ヒエには除草効果がない。

■ 6月上旬田植えの晩生品種(あいちのかおり SBL)

5月下旬に田植えした晩生品種の圃場では、茎数が少しずつ増えてきています。

田んぼ全体を見て1株あたりの分茎本数が18本になったら、中干しを開始してください。

今回の調査では、病害虫の発生は確認されませんでした。

今後の予察結果・栽培管理はこちらからご覧になれます！次回予察実施日：7月2日(木)

作成日：令和8年6月17日 JAふじ伊豆修善寺営農経済センター 担当 小播

